



平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年4月13日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東  
 コード番号 3560 URL http://www.hobonichi.co.jp/  
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）糸井 重里  
 問合せ先責任者（役職名）取締役CF0管理部長（氏名）篠田 真貴子 (TEL) 03-5657-0033  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の業績（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	2,714	—	719	—	714	—	462	—
28年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年8月期第2四半期	231.27		—					
28年8月期第2四半期	—		—					

- (注) 1 平成28年8月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年8月期第2四半期の数値及び平成29年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しています。  
 3 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。なお、当社株式は平成29年3月16日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場しています。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	3,207	2,399	74.8
28年8月期	3,154	1,985	62.9

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 2,399百万円 28年8月期 1,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	4,500.00	4,500.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。平成28年8月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しています。

3. 平成29年8月期の業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,817	1.3	500	0.2	484	△3.6	329	7.8	155.48

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しています。  
 3 平成29年8月期業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(250,000株)を考慮した予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数(上限60,000株)は考慮していません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年8月期2Q	2,000,000株	28年8月期	2,000,000株
29年8月期2Q	一株	28年8月期	一株
29年8月期2Q	2,000,000株	28年8月期2Q	一株

- (注) 1 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成28年8月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。
- 2 当社は、平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	当第2四半期累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)
売上高	2,714,970千円
営業利益	719,479千円
経常利益	714,421千円
四半期純利益	462,549千円

当社は、「やさしく、つよく、おもしろく」を行動指針とし、人びとに「いい時間」を味わってもらうコンテンツを提供する事業を行っています。具体的には、ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」、ギャラリーショップの「TOBICHI」、犬や猫と過ごす「いい時間」を軸にしたスマートフォン用写真SNSアプリ「ドコノコ」といった、人びとがよるこんで集まる「場」を築き、こうした「場」で商品を販売し収益をあげています。主力商品の『ほぼ日手帳』は売上の約7割を占めます。

当第2四半期における当社をとりまく事業環境として、個人のインターネット利用及びEC(電子商取引)利用が本事業年度も発展したことがあげられます。総務省によりますと、平成27年末の我が国のインターネット人口普及率は83.0%となりました。また経済産業省の調査では、平成27年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、13.8兆円(前年比7.6%増)まで拡大しました。当社の主力商品である手帳の市場規模は、民間の調査結果によりますと、平成26年度では355億円(前年比0.9%増)と底堅い動きになっていると見られています。

こうした環境のもと、主力商品の『ほぼ日手帳』では、ウェブ通販において、初めて過去の手帳カバーを販売する「ほぼ日手帳アーカイブショップ」を設け、また、手帳カバーとセットで購入できる本体の選択肢を増やし、顧客の利便性を高めました。このほか、「ほぼ日刊イトイ新聞」における英語のコンテンツを充実させ、中国のSNS「Weibo」で『ほぼ日手帳』の情報発信を開始し、海外ユーザーの認知度を高めることにつとめました。これらの結果、販売部数は伸長したと考えています。一方、中国等海外ユーザーを中心に平均購入額が低下し、結果として『ほぼ日手帳』の売上高は前年比微減となりました。

手帳以外では新刊書籍やアパレルの新商品などが寄与して売上が伸長し、『ほぼ日手帳』の売上減少分を相殺しています。これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は、2,714,970千円となりました。

平成28年6月に公開した犬や猫の写真SNSアプリ「ドコノコ」のアップデートに伴う開発や、中長期の成長に向けて人材採用及び外部人材への業務委託を積極化したこと等の販売管理費が発生し、営業利益は719,479千円、経常利益は714,421千円、四半期純利益は462,549千円となりました。

上記の業績は、当社の運営する「場」が活発にコンテンツを発信し、人びとがよるこんで集まったことによりもたらされたと考えています。「ほぼ日刊イトイ新聞」では、料理研究家の土井善晴さんと糸井重里の対談や、「ほぼ日の塾」(「ほぼ日刊イトイ新聞」が、どのように作られているかを教える無料の「塾」)から生まれたコンテンツ「私の嫌いな人」などが、多くのユーザーを集めました。ギャラリーショップ「TOBICHI」では、自然写真家の星野道夫さんの展覧会や、ニット作家三國万里子さんの書籍出版を題材にしたイベントなどを開催しました。犬や猫の写真SNSアプリ「ドコノコ」は平成29年2月までに12万ダウンロードを達成し、オフ会も数回開きました。

このように、当社は運営する「場」において、さまざまなコンテンツを提供しています。コンテンツとはクリエイティブの集積であり、読み物、キャラクター、画像、イベント、モノのかたちの商品、すべてがコンテンツであると考えられています。当社は、生活のたのしみとなるような「いい時間」を味わってもらう、そのためのコンテンツをつくったり、仕入れたり、育てたり、編集したりして、お届けしています。業績は、こうした活動の結果と考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)	前事業年度末比増減
資産合計	3,154,953千円	3,207,388千円	52,434千円
負債合計	1,169,385千円	807,602千円	△361,783千円
純資産合計	1,985,568千円	2,399,786千円	414,217千円

## (資産の部)

流動資産は、2,540,321千円と前事業年度末に比べて22,939千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加472,339千円と、売掛金の減少249,977千円、商品の減少172,731千円によるものです。

有形固定資産は、174,454千円と前事業年度末に比べて9,752千円の減少となりました。これは主に減価償却によるものです。

無形固定資産は、18,463千円と前事業年度末に比べて403千円の減少となりました。これは減価償却によるものです。

投資その他の資産は、474,148千円と前事業年度末に比べて39,651千円の増加となりました。これは主に投資有価証券の評価額の増加60,538千円によるものです。

## (負債の部)

流動負債は、651,557千円と前事業年度末に比べて366,306千円の減少となりました。これは主に買掛金が484,793千円減少したことによるものです。

固定負債は、156,044千円と前事業年度末に比べて4,522千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金が8,904千円増加したことによるものです。

## (純資産の部)

純資産の部は、2,399,786千円と前事業年度末に比べて414,217千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加372,549千円によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は1,600,495千円と前事業年度末と比べ471,734千円の増加となりました。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動による キャッシュ・フロー	560,121千円
投資活動による キャッシュ・フロー	6,182千円
財務活動による キャッシュ・フロー	△94,570千円

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、560,121千円の純収入となりました。これは主に仕入債務が484,793千円減少したものの、税引前当期純利益が732,564千円となったこと、売上債権が249,977千円減少したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,182千円の純収入となりました。これは主に保険積立金の解約による収入18,142千円があったこと、有形固定資産の取得に6,047千円、無形固定資産の取得に4,497千円を支出したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、94,570千円の純支出となりました。これは主に配当金の支払額90,000千円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成29年8月期 予想	平成28年8月期 実績	対前期増減率
売上高	3,817百万円	3,767百万円	1.3%
営業利益	500百万円	499百万円	0.2%
経常利益	484百万円	502百万円	△3.6%
当期純利益	329百万円	305百万円	7.8%

通期業績予想は、平成29年3月16日発表の「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の通り、公表した内容に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (3) 追加情報

## 1. 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しています。

## 2. オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式の発行

当社は、平成29年2月13日及び平成29年2月24日開催の取締役会において、みずほ証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式60,000株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議しました。

① 募集方法	一般募集(ブックビルディング方式)
② 発行する株式の種類及び数	普通株式 60,000株
③ 発行価格	1株につき 2,350円
④ 発行価格の総額	141,000,000円
⑤ 割当価格	1株につき 2,162円
⑥ 割当価格の総額	129,720,000円
⑦ 資本組入額	64,860,000円
⑧ 割当先	みずほ証券株式会社
⑨ 払込期日	平成29年4月17日
⑩ 資金の使途	既存のサービスの拡充、既存サービスとは異なるコンセプトの新事業立ち上げに必要な人件費及び、システム開発者及びクリエイター等の外部の協力者への人件費(=業務委託費)等、その他諸費用に充当する予定です。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,154,291	1,626,631
売掛金	601,382	351,405
商品	615,126	442,394
仕掛品	20,176	4,499
貯蔵品	6,306	6,349
その他	124,503	113,599
貸倒引当金	△4,405	△4,558
流動資産合計	2,517,381	2,540,321
固定資産		
有形固定資産		
建物	160,249	160,249
工具、器具及び備品	91,862	95,668
その他	3,426	3,060
減価償却累計額	△71,330	△84,523
有形固定資産合計	184,207	174,454
無形固定資産	18,867	18,463
投資その他の資産		
投資有価証券	294,777	355,316
その他	139,719	118,831
投資その他の資産合計	434,497	474,148
固定資産合計	637,572	667,066
資産合計	3,154,953	3,207,388
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	698,845	214,052
賞与引当金	54,149	31,410
未払法人税等	136,007	264,448
その他	128,861	141,646
流動負債合計	1,017,863	651,557
固定負債		
退職給付引当金	78,494	87,398
資産除去債務	42,701	42,813
その他	30,326	25,833
固定負債合計	151,522	156,044
負債合計	1,169,385	807,602
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,980,965	2,353,515
株主資本合計	1,990,965	2,363,515
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,397	36,270
評価・換算差額等合計	△5,397	36,270
純資産合計	1,985,568	2,399,786
負債純資産合計	3,154,953	3,207,388

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	2,714,970
売上原価	1,036,017
売上総利益	1,678,952
販売費及び一般管理費	959,472
営業利益	719,479
営業外収益	
受取利息	12
業務受託料	994
その他	548
営業外収益合計	1,555
営業外費用	
株式公開費用	5,721
その他	891
営業外費用合計	6,613
経常利益	714,421
特別利益	
保険解約返戻金	18,142
特別利益合計	18,142
税引前四半期純利益	732,564
法人税、住民税及び事業税	264,450
法人税等調整額	5,564
法人税等合計	270,014
四半期純利益	462,549

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	732,564
減価償却費	18,025
貸倒引当金の増減額(△は減少)	152
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,738
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,904
受取利息及び受取配当金	△12
株式公開費用	5,721
固定資産除却損	25
売上債権の増減額(△は増加)	249,977
たな卸資産の増減額(△は増加)	188,409
貯蔵品の増減額(△は増加)	△42
その他の資産の増減額(△は増加)	1,719
仕入債務の増減額(△は減少)	△484,793
保険解約返戻金	△18,142
その他の負債の増減額(△は減少)	16,349
小計	696,118
利息及び配当金の受取額	12
法人税等の支払額	△136,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	560,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△6,047
無形固定資産の取得による支出	△4,497
保険積立金の解約による収入	18,142
その他	△1,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式公開費用の支出	△4,027
配当金の支払額	△90,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,734
現金及び現金同等物の期首残高	1,128,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,600,495

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はウェブメディアと物販を複合的に行う単一のセグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しています。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、平成29年2月13日及び平成29年2月24日開催の取締役会において、公募による新株式の発行を決議し、平成29年3月15日に払込が完了しています。その概要は次のとおりです。

① 募集方法	一般募集(ブックビルディング方式)
② 発行する株式の種類及び数	普通株式 250,000株
③ 発行価格	1株につき 2,350円
④ 発行価格の総額	587,500,000円
⑤ 引受価額	1株につき 2,162円
⑥ 引受価額の総額	540,500,000円
⑦ 資本組入額	270,250,000円
⑧ 払込期日	平成29年3月15日
⑨ 資金の使途	既存のサービスの拡充、既存サービスとは異なるコンセプトの新事業立ち上げに必要な人件費及び、システム開発者及びクリエイター等の外部の協力者への人件費(=業務委託費)等、その他諸費用に充当する予定です。